

夏休み！わくわく館外学習 渋川の古代ヘタイムトラベル



7月28日に、豊秋公民館の館外学習「渋川の古代ヘタイムトラベル」が行われました。榛名山の噴火に関連した市内の遺跡について学ぶもので、14人が参加し、発掘調査中の現場や赤城歴史資料館などを見学。古墳時代のアクセサリーづくりにも挑戦し、石を削って、自分好みに磨き上げた「勾玉」を作りました。



子ども陶芸教室 粘土で自分だけの作品作り



7月30日に北橋公民館で、子ども陶芸教室が開催されました。参加した子どもたちは、思い通りの形を作ることに苦戦しながらも、粘土をこねてカップや皿などを作成。専用の絵の具で着色したり、ヘラで模様を付けたりした作品は、乾燥後に焼き、自分で作った世界に一つだけの作品として子どもたちに渡されました。

手芸教室「プラ板キーホルダー」 手描きイラストをキーホルダーに



8月3日に小野上公民館で、夏休みの子どもの対象とした「プラ板キーホルダー教室」が行われました。プラ板キーホルダーとは、プラスチック板に絵を描き、温めると縮んで硬くなるというもの。子どもたちは、イラストを描いたプラ板が縮んでいく様子をトースターの窓からのぞき込み、歓声を上げていました。

あすチャレ！ジュニアアカデミー パラスリートから共生社会を学ぶ

7月15日に伊香保中学校で、スポーツを通じて共生社会への気付きを学ぶ「あすチャレ！ジュニアアカデミー」がオンライン開催されました。参加した生徒は、「障害」は身体的なハンディではなく、社会のルールなどにあるもので、思いやりのある行動で解消できることを学び、「自分にできることは何か」意見を出し合いました。



ポッチャ・軽スポーツ体験 パラスポーツ体験で親子連れ笑顔



7月23日に渋川スカイランドパークで、「ポッチャ・軽スポーツ体験イベント」が行われました。健康増進やスポーツの楽しさを知ってもらうことに加え、市が進める共生社会実現に向けた取り組みとして、市まちづくり財団がパラスポーツのポッチャや輪投げなど4種目を実施。参加者は、各種目に設定されたクリア条件を目指し、スポーツを楽しみました。



気象防災ワークショップ 命を守るため日頃から災害に備える



7月12日・13日に市役所本庁舎で、気象防災ワークショップが開催されました。これは、自治会長や自主防災リーダーが参加し、住民の命を守るために早期の避難や避難所の運営について理解を深めるというもの。参加者たちはいざというときのために、与えられた課題について真剣に話し合っていました。

ハワイ郡姉妹都市バーチャルコンサート 動画で交流し都市の魅力伝え合う



7月27日、ハワイ郡主催の姉妹都市バーチャルコンサートが行われました。新型コロナウイルスの影響により交流が難しい中、9都市が参加して、歌や踊りなどの動画を約1時間にわたり配信。本市でも、伊香保ハワイアンフェスティバルが2年連続で中止になっています。参加者は、交流が再開する日を心待ちにしていました。

聖火リレー記念モニュメント除幕式 聖火の記憶を残す石碑を設置

7月19日伊香保温泉石段街のだんだん広場で、聖火リレー記念モニュメントの除幕式が行われました。このモニュメントは、今年3月31日に東京2020オリンピック聖火リレーの出発式が行われたことを記念して設置されたもの。当日は、会場の愛称「だんだん広場」の名付け親になった永瀬響一さん(桐生市)に、賞状と副賞の授与も行われました。

